

【平成 27 年度・前期学期・ミクロ経済学 I・課題 4】

☆ 2015 年 6 月 30 日講義開始時締め切り

【問 1】 次のようにある財の市場における、需要関数・供給関数が与えられている場合について、後の設問に答えなさい。

$$\text{供給関数: } Q_s = -4 + 2P$$

$$\text{需要関数: } Q_d = 80 - 4P$$

但し、 Q_s は供給量、 Q_d は需要量 P は市場価格を表す。

- (1) 需要関数・供給関数を経済学の慣行に従ってグラフに描きなさい。その際、グラフの縦軸と横軸を正しく定めること。
- (2) この市場が均衡状態にあるとき、均衡価格と均衡数量を求めなさい。(グラフにも書き入れること。)
- (3) 今、この市場に政府が介入し、 $P^{\#} = 12$ ですべての財を取引するように規制した場合、この市場ではどの程度、超過需要もしくは超過供給が存在するか求めなさい。また、実際に取引される数量はいくつになるか？
- (4) (3)の状態のとき、市場では価格圧力(価格プレッシャー)はどちらの方向にかかるか述べなさい。また、どうしてそのように考えるのか、需要者と供給者の意思から説明しなさい。
- (5) (3)の状態における消費者余剰・生産者余剰を求めなさい。

【問 2】 次の弾力性を求めなさい。

- (1) パンの市場で、パンの価格が 3% 上昇したとき、需要量が 1.5% 下落した。この時パンの需要の価格弾力性を求めなさい。
- (2) パンの市場で、代替財である米の価格が 2% 上昇したとき、パンの需要が 5% 上昇した。この時代替財価格の変化に対するパンの需要の(交差)弾力性を求めなさい。
- (3) GDP が 2% 上昇したとき、労働者雇用率が 3% 上昇した。このとき、雇用の GDP に対する弾力性を求めなさい。
- (4) 大豆の市場で、大豆価格が 1 単位 (5000 ブッシェル) が 1 万円だったのが 1 万 500 円になった。この時、需要量が 4 万単位から 3.8 万単位に減少した。この時、大豆の需要の価格弾力性を求めなさい。